

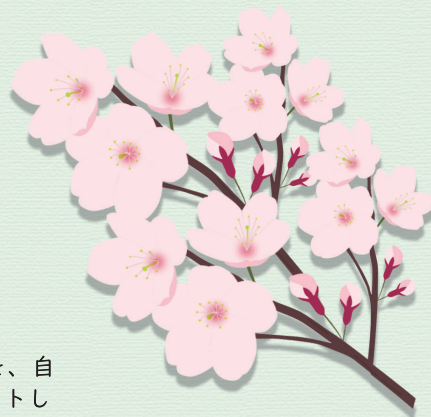
市長  
コラムてっちゃんの  
ひとりごと

熊谷の花、桜の季節となりました。卒業式とともに「熊谷桜」が咲き、4月に入ると「そめいよしの染井吉野」も新入生の笑顔に癒えるように咲き始めました。

とは言え、コロナ禍も3年目となり3月に卒業された皆さんのことを考えるとちょっと切くなりますね。今年もそれぞれの学校では、来賓をはじめ地域の皆さんの出席もなく淡々とした卒業式が3回目となりました。卒業式での来賓の祝辞は生徒の皆さんにとっては「ウザイ」ものかもしれませんが、そのウザさも一つの思い出となっていたんじゃないかなと思います。が、コロナ禍で卒業生が在籍した学校でどんな思い出が残せたんだろうか。

入学式から始まり、遠足や運動会、林間学校や体育祭、部活動や文化祭に修学旅行等々。そして卒業アルバムはどういうものになっていたのか気になります。自分が生まれ育った、そして学生時代を過ごした熊谷市の思い出が淋しいものになってしまったのではないかと思うと、大変残念です。

こんな時だからこそ、熊谷で過ごした時間が素敵な時間だったと思えるまちを創らなければと思う4月です。



※ このコーナーは、小林哲也市長が日々感じている思いや印象に残った出来事を、自らの言葉で市民の皆さん一人ひとりにお伝えしたい、そんな気持ちからスタートしました。隔月での連載を予定しています。今後もお楽しみに！